

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
内灘南部地区

平成25年2月

石川県内灘町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県	市町村名	内灘町	地区名	内灘南部地区			面積	360ha			
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	172百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 町道新設整備 向粟崎2丁目、町道幹10号向粟崎線(当初:町道幹3号向粟崎線ほか)、防火水櫃整備、街なみ環境整備事業 提案事業 -									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	町道向陽台2号線、町道向陽台17号線、町道鶴ヶ丘東5,18号線、町道大学1号線		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	まちなかにおける空家および空地活用調査		街なみ環境整備事業進捗遅れから調査の有効性が確保できないため		地区人口及び接道不良住宅、空家件数に関連するが、数値目標は据え置く。					
	新たに追加した事業	基幹事業	町道幹1号向粟崎大根布線、町道アカシア向粟崎55号線ほか		交差点部のバリアフリー化を促進するため生活・防災基盤整備(道路側溝の整備・暗渠化)を図るため		地区人口及び空家件数に関連するが、数値目標は据え置く。					
		提案事業	事業効果分析調査		事業実施効果を評価分析し、今後のまちづくり方策へ反映させるため		影響なし					
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	地区人口	人	23,370	H19	24,400	H24	-	22,500	×	あり なし ●	平成25年4月頃
	指標2	接道不良住宅率	%	72.3	H19	60.0	H24	-	69.8	△	あり なし ●	平成25年4月頃
指標3	空家件数	棟	173	H19	166	H24	-	176	×	あり なし ●	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			
	その他の数値指標1	街なみ環境整備区域内の建築確認申請件数	件	33	H19	/	/	-	40	/	街なみ環境整備事業区域内では、一定の住環境改善が図られ、土地利用更新の動きに繋がって建築確認申請件数が増加したと考えられる。	平成25年4月頃
	その他の数値指標2	自主防災組織設立件数	件	7	H19	/	/	-	12	/	近年の多発する災害や各種生活・防災基盤整備の実施などを踏まえて地域住民の防災意識が高まり、自主防災組織設立件数の増加に繋がった。	平成25年4月頃
その他の数値指標3	街なみ環境整備区域内の空家件数	棟	29	H19	/	/	-	10	/	街なみ環境整備事業区域内では、一定の住環境改善が図られたことで住みやすさが向上し、空家の解消や新たな空家の発生抑制に繋がったと考えられる。	-	
その他の数値指標4	向粟崎2丁目地内の転入転出人口増減	人	-24	H19	/	/	-	+7	/	街なみ環境整備事業等が行われた向粟崎2丁目地内では、一定の住環境改善が図られたことにより、転入者の増加と転出者の抑制に繋がったものと考えられる。	平成25年4月頃	
4)定性的な効果発現状況	*まちづくり協議会などに参加した地域住民のまちづくりに対する理解が深まり、アダプトなどの活動実施に繋がった。											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等							
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		-							
	住民参加プロセス	向粟崎地区まちづくり協議会の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		今後ともまちづくり協議会の開催を通じて地域住民の意見を取り入れながら街なみ環境整備事業の推進に取り組んでいく。							
持続的なまちづくり体制の構築	アダプト組織の設立	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		今後ともアダプト組織の活動の輪を広げ、地域コミュニティの活性化を図っていくとともに、官民協働によるまちづくりの意識を高めていく。								

様式2-2 地区の概要

内灘南部地区(石川県内灘町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
【大目標】新旧住民が誇りを持って暮らせる安全・安心・快適なコミュニティづくり 目標1: 新旧住民の交流が育まれる居住環境の向上による定住促進 目標2: 包括的な防災機能強化による安全・安心な生活基盤づくり 目標3: 歴史的資源や空家などの活用による地域コミュニティの活性化	地区人口	単位: 人	23,370	H19	24,400	H24	22,500	H24
	接道不良住宅率	単位: %	72.3	H19	60.0	H24	69.8	H24
	空家件数	単位: 棟	173	H19	166	H24	176	H24
	街なみ環境整備区域内の建築確認申請件数	単位: 件	33	H19	-	-	40	H24
	自主防災組織設立件数	単位: 件	7	H19	-	-	12	H24
	街なみ環境整備区域内の空家件数	単位: 棟	29	H19	-	-	10	H24
	向粟崎2丁目地内の転入人口増減	単位: 人	-24	H19	-	-	+7	H24



防火水槽整備



防火水槽整備



防護柵改修整備



町道新設整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住環境の向上と定住促進が課題であったが、街なみ環境整備事業などの実施を通じて限定的ではあるものの居住環境は向上した。ただし、地区全体人口の減少に歯止めをかけるには至らず、既成市街地内における定住促進が必要である。</li> <li>生活、防災基盤の整備と防災意識の向上が課題であったが、自主防災組織設立件数が増加するなど住民の防災意識は確実に向上してきている。ただし、街なみ環境整備事業の進捗の遅れにより、向粟崎地区では依然として接道不良住宅が多数存在し、その解消が必要である。</li> <li>地域コミュニティの活性化が課題であったが、自主防災組織やアダプト組織の設立が増加しているなど、地域コミュニティの活性化に繋がる活動が芽生えてきている。ただし、地区全体の空家件数は減少するに至っておらず、空家の有効活用などの対策を図っていく必要がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の理解と協力を深めながら向粟崎地区における街なみ環境整備事業を継続実施し、居住環境の面的改善や接道不良住宅の解消を図っていく。</li> <li>自主防災組織の設立支援、育成強化を通じて、地域住民の防災意識向上に引き続き取り組んでいく。</li> <li>アダプト組織活動の輪を掛け、地域コミュニティの活性化とともに官民協働によるまちづくり活動に取り組んでいく。</li> <li>街なみ環境整備事業の推進などのハード面での対応とあわせて、ソフト面での施策を組み合わせながら既成市街地内での定住促進を図っていく。</li> <li>空家の実態を詳細に把握し、所有者などの意向も踏まえながら、その有効活用や適切な維持管理などに向けた対策を検討していく。</li> </ul>